

リーダーとはどうあるべきか ～地方創生に向けて～

1. はじめに

違和感のある言葉（この 10 年、20 年）

- ・失われた 10 年、20 年 他人事、甘えた言い方
 - 失った 10 年、20 年
 - 何を失ったか；継続的な新しい価値の創造（価値創造能力）を失った
- ・権利と義務
 - 義務と権利

独立、自律の精神が必須
（相互扶助の精神と並立）

2. 価値創造能力の必要性

◎価値創造能力 → 成長には必須

- 商品寿命の短縮化に即応（新商品の開発）
- 新事業構造（ビジネスモデル）の創出
- 人、もの、金、時間の生産性向上
- 既存ビジネスの放てき、破壊の覚悟も必要
- 利害関係を遮断した決断
- 急激な国際化への対応

中央・地方を問わず
意識改革が必須

3-1. 人材の確保が必須

- ・人材育成（社内、地方、国単位）
- ・人材（リーダー）の Pick up、登用（社外、国外）

↓

人材こそ最大の資産（税金のかからない唯一の資産）

3-2. リーダーの資質（価値創造のために）

- ・チームビルディング能力
 - 人に興味を持てるか、外部人材の登用（Pick up）も
- ・発信能力
 - 発信能力 ≪ 受信能力（受信力なくして発信力なし）
 - 3つの「D」（Dialog、Discuss、Debate）
 - 異質者、創造的コンフリクト → 敬意とノーサイド
- ・胆力（度胸、決断力）
 - 自己研鑽・修羅場体験必須、疑似体験重要（歴史）

4. 結び <地方創生に向けて；リーダーの重要性>

- ・継続的な新しい価値の創造こそリーダーに求められるもの
- ・人、もの、金、時間と地方特有の資源の生産性倍増
- ・人材の育成、地方に存在する高等教育（大学）の充実、独創的なアイデアを育てる環境
- ・報酬の UP（最低賃金；時給 1,000 円以上）

以 上